

松山亮  
高橋恕  
同著



# 小學珠算全書

目錄

- 卷之一 算珠用法 附算法 加法
- 卷之二 減法 加減雜題
- 卷之三 乘法 加減乘雜題
- 卷之四 除法 四則雜題
- 卷之五 定位法原理 度量衡貨幣
- 卷之六 度量衡貨幣
- 卷之七 異乘同除
- 卷之八 同乘異除 雜題
- 卷之九 利息算
- 卷之十 均輸
- 卷之十一 差分
- 卷之十二 求積

同盟書房發兌

凡例

一此書ハ小學初等科及中等科算術ノ教課用ニ供スルモノニシテ其編纂ノ順次ハ專ラ文部省御創定  
 小學校教則綱領ニ據リ旁ラ利息算均輸及求積ノ三法ヲ増補ス其  
 日用ニ適切ナルヲ以テナリ  
 一加減乗除ノ四法ハ別ニ解義ヲ示  
 廿ス單ニ卑近ノ問題ヲ輯録シ其  
 他ノ諸法ハ先例題ヲ掲ケテ數理ヲ說明シ問題ヲ其後ニ附ス蓋加  
 減乗除ハ練熟ヲ主トシ他ノ諸法ハ理解ヲ主トスレハナリ者官幸  
 ニ其不倫ヲ咎ムルヲ勿レ  
 明治十五年七月 著者識

小學珠算全書卷之六

和歌山 松山 亮 同著  
 大阪 高橋 恕

諸等集法

例 毎日九里二十五町三拾二間五尺  
 を歩行する旅人あり七日間は  
 幾里を旅行すべきや

答 六拾七里三拾四町四十  
 九間五尺

解 置き通法よりて尽く

其末項數より得る數十二万五

千八百二十

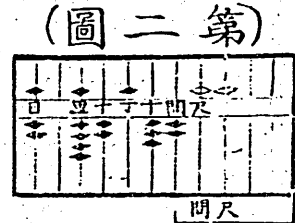
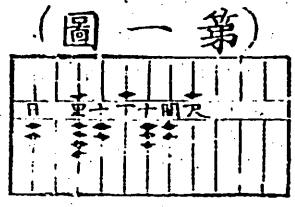
七尺又日數七日を乘

得る積六十八万〇八百五十九

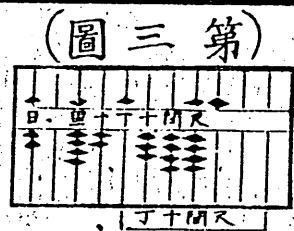
尺又命法よりて再び各項を配

置すれハ答數を得るあり

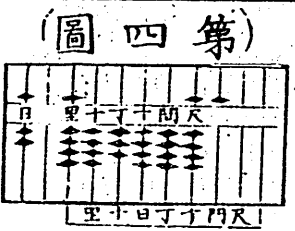
又第一圖の如く法實兩數を左右  
 に列し先づ實の末項(五  
 尺)を法を乘し得る數(三  
 十五尺)を其上項の法即間  
 法(六尺)より一位除かれ  
 ハ實の末項ハ變じて五  
 間五尺とあはれこと第二  
 圖の如く次より其上項(三  
 十二間)を法を乘されハ  
 前より得る間數を合して  
 二百二十九間を得る之  
 を其上項の法即町法(六  
 十間)より一位除されハ  
 實の末二項ハ變じて三町四十九



間五尺とあること第三圖の如く  
 次より其上項(貳拾五丁)を法を乘し



得る數(前の町數と共に  
 百七拾八町)を其上項の  
 法即里法(三拾六丁)より  
 一位除されハ實の第二  
 項以下は變じて四里三  
 拾四町四拾九間五尺と  
 あはれこと第四圖の如く  
 次より其首項(九里)を法を  
 乘されハ總數六十七里  
 三拾四丁四拾九間五尺  
 を得るあり



(法)實數を其末項より化し然る後法  
 數を乘し得る積を再び化して

各項の配るべし

(又) 実数を布置し先其末項の法数を乘し得る数を化し得べき丈に其上項の数を化し次て其上項の法数を乘し得る数を化し得べき丈に其項の数を化し逐次如斯くして首項に至るへし(但法数の尾位小數ある時ハ此法を用ふべからず)

(設題)

(一) 二里三町拾五間二尺を六倍せば幾何

(二) 三町八段三畝拾二歩の田地五ヶ所あり其總段別如何

(三) 藥品十二箱あり壹箱毎ハ八斤五兩三匁容るる時ハ總量幾何

(四) 毎日十二秒つゝ後ろゝ時計ハ一年(三百六拾五日)間ハ何時間後ろへきや

(五) 毎日六時貳拾五分つゝ働く人は一ヶ月(三十拾日)間ハ幾日幾時間働くへきや

(六) 耕地と牧地とあり耕地の段別三段五畝貳拾五歩として牧地ハ之に十五倍と云ふ間ハ其牧地の段別如何

(七) 物の響は一秒時間ハ三町六間四尺に達せしむ間一分(六拾秒)時間ハ幾里に達すへきや

諸等除法

例十七時貳拾三分四拾五秒を五分  
 せれハ幾何

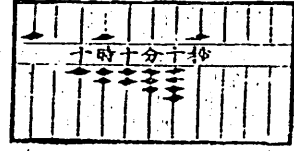
答 三時貳拾八分四拾五秒

解実數十七時貳拾三分四拾五秒  
 を通法よりて其末項より化し得  
 る數(六万貳千六百貳拾五秒)を法  
 數よりて除し得る商壹萬貳千五百

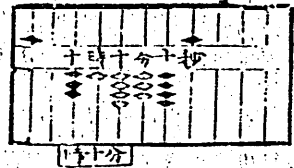
貳拾五秒を再ひ化して  
 各項より配置せれハ右の  
 答數を得るあり

又第一圖の如く法実兩  
 數を左右より列し先づ法  
 を以て實の首項を除し  
 商三時と殘數二時を得

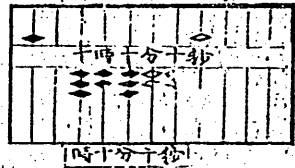
(圖一第)



(圖二第)



(圖三第)



るこの殘數に首項の法  
 (六拾分)を乘せれハ自ら  
 第二項數と混同し々百  
 四拾三分とあること第  
 二圖の如く次に第二項  
 (百四拾三分)を法よりて除  
 し商貳拾八分と殘數三  
 分を得る此殘數より其項  
 の法(六拾秒)を乘せれハ  
 自ら末項と混同して二  
 百貳拾五秒とあること  
 第三圖の如く次に末項(二百貳  
 拾五秒)を法よりて除せれハ商四  
 拾五秒を得て殘數あり是に於  
 て全商三時貳拾八分四拾五秒

を得るあり

(法) 實數を其末項數に化し然る後法を以て除し得る數を再び化して各項に配置せむ

(又) 實數を布置し先其首位を法にて除し得る商を以て商の首項とし残數を化し第二項を合し次に第二項を法にて除し得る商を以て商の第二項とし殘數を化し第三項を合し逐次如斯くして末項に至るべし(但法數の尾位小數ある時ハ此法を用ふべからず)

(設題)

(一) 田地四ヶ所の段別合して貳拾四町二段五畝六歩あり平均一ヶ所の段別ハ如何

(二) 六日の間五十三里七町十間を旅行せし人あり問其人平均一日幾里を歩みしや

(三) 十二時間四拾八里十八町を航する船は一時間幾里を航せしや

(四) 瀛車あり某地を五回往復せしに八時二十分二十五秒を費せりと云ふ問其一回の往復ハ幾時間を要するや

(五) 藥品三箱の重量十六斤三十七兩一匁あり平均一箱の重量ハ如何  
(六) 金壹円を付二斤三兩二匁を賣る

藥品三百十三斤五兩を買ふに  
金幾円を要するや

(七) 二時三十五分四十秒を幾倍  
れバ十二時五拾八分二十秒と歩  
ハきや

其三 雜題

- (一) 米一石に付金七円三拾五錢の時  
米三斗二升八合の代金ハ如何
- (二) 炭二俵の價金五十四錢ある時ハ  
同品八俵の價金幾何
- (三) 唐木綿二丈八尺の價金七十錢  
ある時ハ同品六尺の價金幾何
- (四) 三町六反八畝歩の田地を所持  
する人あり其收穫米一反歩に付二

石八斗を得ると云ふ然らバ總收  
獲米幾何

(五) 或人縮緬貳匹を買ひ内貳丈八尺  
を以て綿入を製し一丈五尺を以  
て胴着を製し貳丈五尺を以て羽  
織を造りしと云ふ然らバ其残余  
の反數幾何 但一匹ハ二反一反ハ  
二丈八尺

(六) 或人瀛船ヲ搭りて海路百七十八  
里の地ヲ航せしハ最初五時の間  
ハ毎時二拾里の速力を以て馳せ  
其後十六時間を費せりと云ふ然  
りバ其後每一時間の速力幾何

(七) 米貳拾五石八斗三升と十五石四  
斗二升五合の和より十八石を引  
き之を二倍せしハ其價恰も三百

四拾八円八拾貳錢五厘ありと云ふ然らば此米五斗の價金幾何

(八) 或人一俵四拾六錢の炭百ニ拾三俵を買ひ其後ち之を六拾三円九拾六錢と賣れりと云ふ然らば其人一俵に付幾何の利を得しや

(九) 士官あり其月俸金百貳拾円より其内九拾六円を諸費に充て其餘金を貯へ已に七百貳拾円を得たりと云ふ然らば其年月幾何

(一〇) 或人一箱の代金三拾九円六拾錢の藥品三百貳拾五箱を買ひ之を一万三千六百五拾円にて賣れりと云ふ然らば其人一箱に付幾何の利を得しや

(一一) 長方形の田地あり其短辺ハ六拾貳間より其面積ハ四千六百五拾歩ありと云ふ然らば其長辺の間數ハ幾何

(一二) 或人一ヶ年間の費用を算まば二百九拾三円四拾五錢ありと云ふ然らば一日の入費幾何

(一三) 綿布五端の價二反ハ三丈ハ八尺七円貳拾八錢あれバ其三尺の價ハ幾何

(一四) 絹貳百貳拾五端の長さハ六百七丈五尺ありと云ふ問ふ其五端の長幾何

(一五) 茶六百四拾八斤の價百六拾貳円あは時ハ同品拾八斤の價金幾何

(一六) 金八拾八円を以て綿布九拾九端



を賣る時ハ金一円二付幾端の割  
よ當るや

(七) 一斤の價金貳拾五錢の茶六拾五  
斤と一斤の價金貳拾錢の茶貳拾  
五斤とあり之を混和して平均一  
斤よ付金貳拾三錢よ賣る時ハ其  
損益如何

(八) 長方形の地面よ桐を植うるよ売  
坪よ付五株づゝの割合より総計  
千八百七拾五株を植へたりと云  
ふ今其潤さを十五間とける時ハ  
其長さ幾何

(九) 郵便脚夫あり一時間二里半詰を  
以て歩み拾二里半の道程を行く  
又誤りて道に迷ひ八時間よりく

其地よ達ると云ふ然らば其圓シ  
里程幾何ありや

(一〇) 毎時五里を走る船ハ幾時間より  
百貳拾三里の距離よ達るべきや

(一一) 直形の宅地あり其坪數九拾四坪  
半よりして間口六間あれハ其奥行  
幾何

(一二) 或人一ヶ月拾八円八拾錢の學資  
を要ると云ふ然らば一ヶ年よ幾  
何を要るや

(一三) 人あり蜜柑酒と葡萄酒と各一瓶  
を賣ふよ代金合せて一円五拾五  
錢あり然して其價葡萄酒ハ蜜柑  
酒より八十五錢貴いと云ふ各の  
價幾何

(四三) 一石より付二円五拾銭の米二斗八升を以て毎斤拾一銭貳厘の煙草を代る時ハ幾斤を得べきや

(五二) 釜鍋各一個を買ふに代金合せて一円貳拾五銭あり鍋の價ハ釜より拾五銭少ありとせば各一個の價幾何

(六二) 二種の砂糖あり甲ハ貳円四拾銭より八斤乙ハ貳円貳拾五銭より九斤の割合ありと云ふ然らば両品毎一斤の差幾何

(七二) 毎時間より一畝貳拾歩を耕る農夫は幾時間より六段四畝五歩を耕るべきや

(八二) 米四斗入り一俵の目方拾六貫目ありと云ふ今日方八百三拾貳貫目の米を四斗俵より入るる時ハ其俵數幾何

(九二) 或人一俵より付貳拾五匁の炭三俵と一石より付八円五拾銭の米五斗とを買へり其總計金幾何

(一〇三) 七人の工夫毎日十時間づゝ働きた十五日より成るべき一車あり今此中四人を減じて毎日前と同一の時間働く時ハ幾日よりして成功すべきや

(一一三) 漁船あり明治十五年五月一日正午甲港を開帆し同月十三日正午乙港へ達したりと云ふ今其距離を問ふ凡そ三百拾里ありと然

らハ此瀛船日毎ニ幾里ツク奇リ  
しや

(二) 荒地一反を開拓せるハ金八十  
四円を要すと云ふ然らバ千二百  
六十円を以て開拓せば其反別幾  
何

(三) 小豆壹升の價ハ上米八合二勺  
均一と云ふ然らバ上米壹石九斗  
貳升七合ハ小豆幾何ニ當るや

(四) 或人三ヶ所の田地を買へり甲ハ  
一反の價九十八円より五丁五  
反乙ハ同く八十二円より三丁  
七反丙も同く七十八円より三  
丁貳反ありと云ふ問ふ其總代金  
幾何

(五) 金百拾八円を貸すこと一ヶ月  
して一円の利息を得たりと云ふ  
此割合より今金一万四千五百十  
四円を一ヶ月貸す時は其利息金  
幾何

(六) 爰ニ二工あり甲ハ貸金九匁五厘  
乙ハ七匁三厘あり今二工の貸金  
と一ヶ金十三円二十七匁貳厘を  
受取たりと云ふ然らハ各幾日働  
きしや

(七) 仮令ハ米一石より清酒壹石五斗  
三升八合を醸造すと云ふ今米百  
三十石を以て醸造する時ハ清酒  
幾何を得べきや

(八) 或人金壹萬五千八百五十円を以

て家三戸を買ひ其後一戸を賣りて八百五十円の利を得又他の二戸を賣りて先の利益より三百円宛多く得ると云総計幾何の益ありや

(九三) 焼酎一升の價三十七匁五厘よりて並酒一升五合の價は相等しと云ふ然らば金一円五十匁より並酒幾升を得べきや

(九四) 茶八万八千三百七十八斤を金四万二千三百円に賣る時ハ平均一斤の價幾何

(一〇) 布貳拾六匹の代金九拾七円五拾匁あれば五匹の代價幾何

(一一) 或人一ヶ年ハ家賃金百拾四円を収むと云ふ然らば一ヶ月ハ収むる家賃幾何

(一二) 或人書肆に至り一冊に付金拾匁の小學読本六拾冊を購ひ又一部は付七拾五錢の蒙求貳拾部を求め三拾円を拂へりと差引過不足幾何

(一三) 馬車あり其車輪の周圍八尺五寸ありて千二百五拾四旋轉する時は幾許の里程を進むや

(一四) 童子一人を養ふ費用ハ一ヶ月平均二円大人ハ貳円八拾錢あり今各三人を三ヶ月間養ふ時ハ其費用金幾何

(一五) 車夫あり或地は行くハ一里に付

四銭の割合を以て貸金五拾銭を  
得たりといふ問其里程幾何

(七) 二大四尺を以て兄弟三人の衣を  
製せらるる長子ハ次子より一尺多  
く次子ハ季子より一尺多しと云  
ふ問各人所用幾何

(八) 直形の田地あり横巾拾六間とし  
て反別三段三畝拾歩ありといふ  
問其長幾何

(九) 九拾一銭を以て酒酢油各一升を  
買ふ又油一升の價ハ酒二升の價  
ト同ト酒一升の價ハ酢二升の  
價又同トと云ふ然らバ各一升の  
價幾何

(十) 酒樽あり其量二貫三百六拾四匁  
あり今之に酒を満せしむるに全  
量十六貫三百六十四匁ありと其  
外數幾何 但酒一升の重量  
を四百匁とす

(十一) 水車あり三時二十五分毎に米一  
石を精ぐは時ハ四十一時間には  
幾何の米を精け得べきや

(十二) 石筆十八本の價ハ筆六本の價ハ  
均しと云ふ今石筆百二十二本の  
價ハ九拾七錢六厘ある時ハ筆一  
本の價金幾何

(十三) 一石に付六四九十六錢の米三千  
カ升の代金を以て一升に付八錢  
の砂糖を買け幾斤を得べきや

但竹赤満いみを  
以て答ふべし

(十四) 公債証書六百元に付利子四十二

川邊...  
田あり今利子二十五円貳十弍を  
受取る人あり然らば其人幾何の  
公債証書を所持せりや

(五五) 一里四方の原野あり之を尽く開

墾して田地とあき時ハ反別幾何

(六五) ノあり小豆大豆小麦各三升を買

ふよ小豆一升の價ハ九錢大豆一

升の價ハ小豆より二弍安す小

麦一升の價ハ小豆より五弍安し

と云ふ然らば此人買ふ処の惣價

幾何

(七五) 噴井あり一時間水八斗を出る

時ハ幾時間より一石一斗を出

さべきや

(八五) 高野豆腐九拾箱の價金百三十五

円ある時ハ三箱の價金幾何

(九五) 直形の地あり其長五町横三町か

りと云ふ之を開墾せば幾何の田

地を得べきや

(一〇六) 商人あり金五百六十円を以て麦

八十石を買ひ其後ち之を賣拂ひ

て金六百円を得たりと云ふ然ら

ば其毎石の利金幾何

(一六) 竟

一炭三十五俵 一俵五付 二十四錢五厘

①代金、、、、

一薪二百五十六貫目 二百貫目付 五錢二厘

②代金、、、、

③計金、、、、

(二六) 記

一上茶三斤 一斤二付 一円三十二銭

①代金、、、、

一白砂糖五斤 一斤二付 三十八銭

②代金、、、、

③計金、、、、

内金十円 受取

④差引金、、、、 過又八不足

(三六) 記

一米四斗五升九合 金一円二付一斗五升三合替

①代金、、、、

一小麦一斗二升三合 一斤二付十 五銭六厘替

②代金、、、、

一大豆五升六合 一斤二付 十二銭替

③代金、、、、

④計金、、、、

(四六) 記

①一金、、、、 二銭五厘替 半紙 二十五折

②一金、、、、 三銭五厘替 水筆 三十二本

③一金、、、、 十銭六厘替 墨 十八本

④一金、、、、 三十五銭替 鉛筆 一三把

⑤計金、、、、

諸等兼法答數

- (一) 拾貳里拾九町三拾貳間
- (二) 拾九町一及七畝
- (三) 九拾七斤貳拾九兩
- (四) 一時拾三分
- (五) 八日三拾分
- (六) 五町三及七畝拾五步
- (七) 五里六町四拾間

諸等除法答數

- (一) 六町六畝九步
- (二) 八里三拾一町拾一間四尺
- (三) 四里一町三拾間
- (四) 一時四拾分五秒
- (五) 五斤貳拾五兩三匁
- (六) 百五十円
- (七) 五倍

度量衡貨幣雜題

- (一) 二円四十一錢〇八毛
- (二) 二円十六錢
- (三) 十五錢
- (四) 百〇三百〇四升
- (五) 一及一一大六尺
- (六) 八里
- (七) 三円七十五錢
- (八) 六錢
- (九) 二年六ヶ月
- (一〇) 二円四十錢
- (一一) 七十五間
- (一二) 五十三匁
- (一三) 十五錢六厘
- (一四) 十三大五尺
- (一五) 四円五十匁
- (一六) 一及一三及一寺
- (一七) 五十五錢損
- (一八) 二十五間
- (一九) 七里半



(〇三) 二十四時三十六分  
 (一三) 十五間四尺五寸  
 (二三) 二百二十五円六十錢  
 (三三) 葡萄酒一円二十錢蜜柑酒三十五  
 錢  
 (四三) 六斤卜四十目  
 (五三) 釜七十錢鍋五十五錢  
 (六三) 甲五錢貴  
 (七三) 三十八時三十分  
 (八三) 五十二俵 (九三) 五円  
 (〇三) 三十五日 (一三) 二十五里三十町  
 (二三) 一町五反 (三三) 二石三斗五升  
 (四三) 一萬九百二十円  
 (五三) 百二十三円 (六三) 七十九日  
 (七三) 百九十九石九斗四升

(八三) 二千円 (九三) 六升  
 (〇四) 四十七錢八厘余  
 (一四) 十八円七十五錢  
 (二四) 九円五十錢 (三四) 九円適  
 (三四) 貳拾九町三拾間五尺  
 (五四) 四十三円二十錢  
 (六四) 十二里十八町  
 (七四) 長子九尺  
 (七四) 次子八尺  
 (七四) 季子七尺  
 (八四) 六十二間三尺  
 (九四) 酢十三錢  
 (九四) 酒二十六錢  
 (〇五) 油五十貳錢  
 (〇五) 三斗五升 (一五) 十二石

(二五) 二錢四厘

(三五) 二十八斤卜百十二匁

(四五) 三百六十圓

(五五) 千五百五十五丁二反

(六五) 六十錢

(七五) 一時二十二分三十秒

(八五) 四圓五十錢

(九五) 十八町

(〇六) 五拾錢

① 八圓五十七錢五厘

② 十三圓三十一錢二厘

③ 二十一圓八十八錢七厘

④ 三圓九十六錢

⑤ 一圓九十錢

⑥ 五圓八十六錢

⑦ 四圓十四錢過

(二六)

(一六)

① 三圓

② 一圓九十一錢八厘八毛

③ 六十七錢二厘

④ 五圓五十九錢。八毛

⑤ 六十二錢五厘

⑥ 一圓二錢四厘

⑦ 二圓八十錢八厘

⑧ 七十五錢

⑨ 五圓貳十錢七厘

(三六)

(四六)

小學珠算八書卷之六 終

K110.44-57

明治十五年九月四日版權免許  
同 年九月 刻成

著者 和歌山縣平民 松山 亮

和歌山区湊南組  
通子北四丁目十九番地

大坂有士族

高橋 恕

和歌山区吹上南組  
通子南三丁目三番地

和歌山縣平民

野田大二郎

同邑湊北組小野町  
二丁目十九番地

縣平民

平井文助

同区内町東組本町  
二丁目二十番地

全

出版人

全